



サポートファイル作り方・使い方ガイドブック



どのように作るのか・どのように使うのかをこのガイドブックでご案内いたします。

概要編

Q1 サポートファイルって何？

様々な情報や記録を、本人または保護者などが書き込み、一つにまとめることができるファイルです。

Q2 「サポートファイル」を活用するとどんなメリットがありますか？

- ・ いろいろな機関に相談する際に、本人の様子を説明しやすい！
- ・ 記録が整理されているから、成長の過程や経過がわかりやすい！
- ・ 教育機関や医療機関、相談機関など子どもに関わってくれる人が情報を共有できる！



作り方編

Q1 作るのは誰？

作成・管理は保護者です。様々な関係者からの情報を蓄積し、ファイルを活用して情報を共有することで関係者の連携を図るツールとしても活用できます。

Q2 どうやって手に入れる？

- ・ みくまの支援学校のホームページよりダウンロードできます。
ホームページアドレス
<http://www.mikumano-sh.wakayama-c.ed.jp/>
- ・ みくまの支援学校支援部にお問い合わせいただければお渡しいたします。

Q3 書き方は？

書けるところから書きましょう

覚えているところ、書こうと思うところから書きましょう。すべての項目を埋める必要はありません。必要だと思ふところ、書いておくとう便利だと思ふことを書きとめます。

楽しく作りましょう

写真を貼ったり、イラストを描いたりするのもOK。シンプルに記録を書くのもOK。作り方にきまりはありません。

Q4 どんなシートがあるの？

フェイスシート

記載内容が大きく変化したときは新しいフェイスシートに書き換えましょう。

育ちの歩みシート

御本人の成長や支援の経過を縦につないで一目でわかるように記録していくものです。シンプルに書きましょう。

どの項目に何を書くか迷うことがあるかもしれません。

目安としての項目なので、こだわらずに書きましょう。



診断・手帳の記録

まとめて書いておくと便利です。

記録シート

例えば病院に行ったとき、どんなことを相談しようかまとめて書いておいたり、んな助言をもらったということを書いておくと便利です。お薬が変わったとか、こんな指導を受けた等を書いてみましょう。

生育暦の記録シート

就学前のそだちの様子をひとまとめにしておくと便利です。病院などの支援機関を活用する時に便利です。

現在のようすシート

現在の様子を1問1答形式で記入できます。就学するときや新しい支援機関を利用するときに活用しましょう。

子どもの様子シート

新しい支援を利用するとき、就学するとき、進学するときなどに記入してみましょう。

全てを伝えようと頑張る必要はありません。「○○はできない」という書き方よりも、「椅子があれば靴が自分で履けます」などのような書き方があると支援者は支援の手がかりを得ることができるかもしれません。「新しい環境でご飯が食べられるか心配」など心配だと思ふことをそのまま書いてみるのもよいでしょう。

支援の方法シート

「子どもの様子シート」で書ききれないこと、もう少し具体的に伝えたいなと思うことがあれば利用してみましょう。

Q5 ハードカバーはどうすればいいですか？

お好みのA4ファイルを御購入下さい。

ポケットファイルを購入すれば母子手帳も入れられます。



Q6 以前に配布された小さいサイズのものを持っているのですが、どうすればいいですか

必要があれば拡大コピーをして、新しいサイズに合わせますのでお申し出下さい。

Q7 アレンジしてもいいですか？



ルーズリーフのナイロンポケットなどを利用して書類を保存したり、写真ページを追加したりして個性あふれるものにして下さい。

作り方にきまりはありません。サポートファイルは本人と保護者のためのものですから、自由に書いて、自由に使ってみましょう。

使い方編

その1 記録としての使い方

新しい支援を利用するとき、「最初に病院に行かれたのはいつでしたか？」「主治医の先生はどなたでしたか？」「どんなことを言われましたか？」と聞かれ困ったことはありませんか？ちょっとしたメモ書きをしておくだけで、支援の経過がわかります。通知表などをはさんでおくのも良いでしょう



その2 情報提供ツールとして・話し合いの材料としての使い方

新しい支援を利用するときや入学などの「引継ぎ」に際して情報をまとめて記録し、必要なページのコピーも加えて、情報提供しましょう。これをもとに話し合いを進めるとより具体的な話し合いができます。各関係機関からの聞き取りもありますが、本人、保護者から積極的に情報を提供していくことも大切です。これにより情報の漏れを防ぎ、心配なことや不安に思っていることを伝えることができるでしょう。

ポイント1

さっと読めるようにシンプルにまとめましょう。

ポイント2

要求の為のものではなく、家庭での様子や支援を伝え、参考にしてもらうためのものです。新しい環境では今までと同じ方法を全て引き継げるわけではありません。これまでうまくいった支援が新しい環境でもうまくいくとは限りません。これまでの支援を手がかりにして、新しい環境でできる支援を考える手がかりを提供するのです。

ポイント3

パンフレット（関係機関用）も一緒に渡して主旨を伝えましょう

その3 ファイルがいっぱいになったら・・

古くなった「フェイスシート」や「記録シート」など必要のなくなったページを取り外し、別に保存しておきましょう。その際「育ちのあゆみ」に記載し忘れていないか確認しましょう。

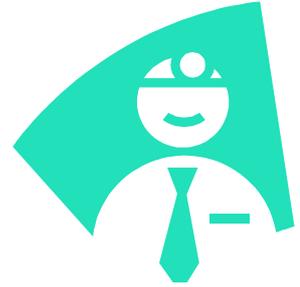


こんな使い方便利かも編

こんな使い方便利かもという使用方法を紹介します。新たな便利な使い方が見つかったら是非、教えてください。

便利かも その1

大人になって病院が変わったとき、「最初に病院にかかれたのはいつですか」と聞かれ、最初に病院にかかったのは小さい時だったので、記憶もあいまいになっていましたが、記録していたのですぐ答えられました。



便利かも その2

高等学校卒業後、うまく就労できなかったのですが、支援をお願いするときに幼児期や小学校の間の支援が記録として残っていたのできちんと説明できました。おかげで本人にも説明をし、就労サポートをうけられるようになりました。

便利かも その3

近所の歯医者にかかるときに、なかなかその場で子どものことを説明しにくいので「記録シート」に診断やこだわりのことを書いてお願いしておきました。うちの子は「時計が苦手」「人ごみの中で待つのが苦手」なのですが、時計をはずして下さり、待合室で待たずに車で待たせて下さいました。

便利かも その4

保育所での様子などを聞いて書いたり、病院の言語訓練の内容も書いておくようにしました。それを保育所、病院の医師、言語訓練の先生、保健師さんに見せるようにしたので、子どもの様子や課題などがそれぞれよく理解してもらえたと思います。

便利かも その5

中学校に就学するとき「子どもの様子シート」を書いて、学校に渡しました。学校から配布される調査票や家庭訪問だけではなかなか伝えきれないので懇談の時間を頂くようお願いしたのですが、入学後すぐに設けて下さいました。

便利かも その6

うちの子は歯磨きや座位保持椅子への座らせ方にコツがいります。「支援の方法シート」を使って説明し、支援の方と一っしょに練習しました。



便利かも その7

補聴器作成の更新時期を「育ちのあゆみシート」に書いていたので忘れずに申請して、あたらしいものをつくることができました。